



# パース通信



Vo.3

今年度1年間交換教員として、オーストラリアのパースに赴任している英語科伊東が、オーストラリアや海外から見た日本についてお伝えします。

さて、皆さん。Vol.3は、パースの街並みと観光について触れようと思います。

オーストラリアという国は、イギリスの植民地でした。遠く離れたこの土地に、イギリスの人たちは罪を犯した人たちを送り込みました。そこからこのオーストラリア西部の街は始まりました。

初めて囚人が送られてきた港がフリーマントルです。パース市内から電車で約30分で、港町フリーマントルに到着です。

綺麗な街並みで、多くの観光客でいっぱいでした。



駅から中心街に向かって歩くと道の両サイドに飲食店やお土産屋さん

が並んでいます。私が訪れた日は、週末でしたので、歩行者天国になっていて、大道芸人やミュージシャンが観光客を楽しませていました。

当然のことながら、全て英語でしたが、とても楽しく、素晴らしい芸を披露してくれました。

そして、何と言ってもフリーマントルで有名なのはマーケット。

生鮮食品や果物、お土産、お菓子やジュースなどが所狭しと並べられています。



そして、イギリスから送られてきた囚人たちが、自分たちで作ったフリーマントル刑務所も中に入って見学できます。



ガイドさんが案内してくれるツアーに参加して、歴史を学ぶこともできました。パースに来て自由時間があれば、一度訪れてみる価値はあると思います。

また、オーストラリアといえば、カンガルーやコアラなどのオーストラリア固有の動物たちですね。パース市内にもパース動物園があります。



コアラに触れてみたいと思う人は、少し郊外になりますが、カバシャムワイルドパークという動物園に行くといいでしょう。目の前でのんびりとカンガルーが昼寝をしているのが見られますし、えさをあげることもできます。ウォンバットのよう珍しい動物にも触れるチャンスはありますので、是非!

そして最後は、やはりパース市街ですね。Cityと呼ばれている中心街は、意外と大きくはありません。お休みが一日あれば、じっくりと堪能できると思います。



写真のように、ハイテクの綺麗な近代的なビルの隣に、歴史のある古い教会があったりします。

また、市内を移動するには、CATと呼ばれる市バスが便利です。色によって運行されているコースは違ってい

ますが、巡回バスは無料で利用できます。Cityから少し離れたKings Parkに行くにもCATは利用できますので少し調べて利用するようにしてみてくださいね。

次回の通信は、「オーストラリアの高校生の一日」に迫ってみようと思います。